

### 市の借金(市債)の総額は 650億4,739万円

市の借金である市債の平成28年9月30日現在の残高は、全会計を合わせて650億4,739万円です。市民一人当たり、約81万円の借金があることとなります。

市債は、市が道路整備や公共施設の建設などを行うときに、国や金融機関から借り入れるお金です。施設などを造った年の税金だけでなく、施設を利用していく将来の市民の皆さんにも費用を公平に負担してもらうことにより、世代間の負担を公平にすることができます。しかしながら、市債は必ず返済しなければならないお金です。今後も市債の借り入れに当たっては、後年度の負担額を十分考慮し、計画的に行います。

(平成28年9月30日現在人口=8万254人)

#### 市債の状況

借入金の使いみち	借入金残額(万円) (前年同期比較)
一般・特別会計	607億2,181万円 (32億8,965万円)
下水道の整備	214億3,664万円 (3,343万円)
道路・橋りょうの整備、区画整理	70億3,264万円 (△2億5,486万円)
教育施設の建設	76億1,665万円 (7億4,458万円)
温泉・観光施設の建設	2億33万円 (△7,691万円)
その他	244億3,555万円 (28億4,341万円)
水道事業会計	43億2,558万円 (△2億3,903万円)
<b>計</b>	<b>650億4,739万円</b> (20億221万円)

#### 市民1人当たりの借入額

81万519円

### 特別会計

区 分	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険(事業勘定)	114億7,274万円	41億9,153万円 (36.5%)	47億9,049万円 (41.8%)
国民健康保険(診療施設勘定)	1億4,002万円	3,087万円 (22.0%)	5,805万円 (41.5%)
後期高齢者医療	9億5,926万円	2億8,376万円 (29.6%)	2億7,746万円 (28.9%)
介護保険	84億9,233万円	33億427万円 (38.9%)	32億6,969万円 (38.5%)
農作物直売事業	1,890万円	1,890万円 (100%)	1,430万円 (75.7%)
伊香保温泉観光施設事業	1億1,317万円	5,193万円 (45.9%)	3,660万円 (32.3%)
小野上温泉事業	3,512万円	675万円 (19.2%)	1,650万円 (47.0%)
交流促進センター事業	717万円	0万円 (0.0%)	127万円 (17.7%)
下水道事業	24億8,252万円	2億9,932万円 (12.1%)	8億7,844万円 (35.4%)
農業集落排水事業	18億8,463万円	9,533万円 (5.1%)	4億8,884万円 (25.9%)
個別排水処理事業	3,765万円	211万円 (5.6%)	674万円 (17.9%)
簡易水道事業	3億5,287万円	5,986万円 (17.0%)	8,488万円 (24.1%)

※特別会計とは、保険料や使用料などの収入によって運営する事業の会計です。一般会計とは区別して経理しています。

### 企業会計

区 分	予算額	収入または支出済額	収入率または執行率
水道事業	収益的収支	収入 17億2,094万円	8億2,702万円 48.1%
		支出 16億2,686万円	3億11万円 18.4%
	資本的収支	収入 1億8,320万円	694万円 3.8%
		支出 12億1,106万円	3億4,325万円 28.3%

※企業会計とは、市などが直接経営する企業の会計です。  
 ※収益的収支=企業の経営活動にかかる収支。  
 ※資本的収支=企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良などにかかる収支。

市有財産の状況	基金		土地(山林含む)	建物	有価証券その他の権利
	特定目的基金	その他の基金			
	55億5,130万円	95億6,858万円			

※特定目的基金とは、福祉事業や国際交流など、用途が特定されている基金のことです。その他の基金は、市税収入の大幅な減少などに備えて積み立てている基金です。



# 平成28年度 市の財政状況 中間報告

市では「市財政概要の作成及び公表に関する条例」に基づいて、皆さんが納めた市税などの収入状況とその使われ方、市の借入金(市債)などの財政状況を、年2回公表しています。今回は、4月1日から9月30日までの財政状況をお知らせします。

### 一般会計 歳入・歳出予算339億935万円



※一般会計とは、市税を主な収入財源として、市民生活に密着した福祉や教育、道路整備やごみ処理といった行政サービス全般に関する経理を行う会計です。